

# 香川大学農学部（附属農場、瀬戸内圏 研究センターを含む）事業継続計画

平成27年12月  
(令和4年12月改訂)

---

## 目次

1. 基本コンセプトと目標.....	1
2. 被害想定と対応業務の洗い出し.....	2
3. 重要業務の選定・非常時優先業務の選定.....	6
4. 災害時の対応体制.....	9
5. 対応拠点・代替連絡拠点の確保.....	10
6. 災害情報の発信・情報共有.....	12
7. 人員、資機材、サービスの確保.....	13
8. 情報・通信システムの確保.....	14
9. 重要情報の管理.....	15
10. 地域との協調・地域貢献.....	16
11. 訓練の実施.....	17

12. 今後の対応 .....	18
13. 資料集	

改訂履歴 初版：平成27年12月  
改訂：平成30年 7月  
改訂：令和 4年12月

## 1. 基本コンセプトと目標

災害時に大学の教育研究業務を継続又は早期に復旧するための準備と災害発生時の対応を事前に想定・計画したものが事業継続計画（BCP）であり、そのうち農学部（附属農場、瀬戸内圏研究センターを含む）に掛かるものが本BCPである。

本BCPのコンセプト及び目標は、以下の5項目とする。

<目標1> 学生、教職員の身の安全を確保する

- ・避難計画や災害後の人的被害への対応

<目標2> 学部等の機能を維持する

- ・農学部（附属農場、瀬戸内圏研究センターを含む）機能の維持

<目標3> 学生を予定通りに卒業・就職、受入れを行う

- ・授業の実施、単位の認定、推薦書・各種証明書の発行、進学・就職活動の支援
- ・入学試験の実施、入学の準備・実施

<目標4> 教育研究水準を確保する

- ・良好な教育研究環境の提供、大学生活等への諸支援

<目標5> 教職員の雇用を確保する

- ・教職員の流出の阻止

## 2. 被害想定と対応業務の洗い出し

- (1) 想定災害の考え方
- (2) 被害想定と対応業務の洗い出し

### (1) 想定災害の考え方

#### ■ 対象リスク

南海トラフ地震（最悪の場合として、最大クラスを想定）とする。

#### ■ 被害想定

中央防災会議の震度、津波高さ、液状化危険度等の想定をもとに被害を想定する。

#### ■ 想定シナリオ

震度：南海トラフ地震発生により6強（5分間）

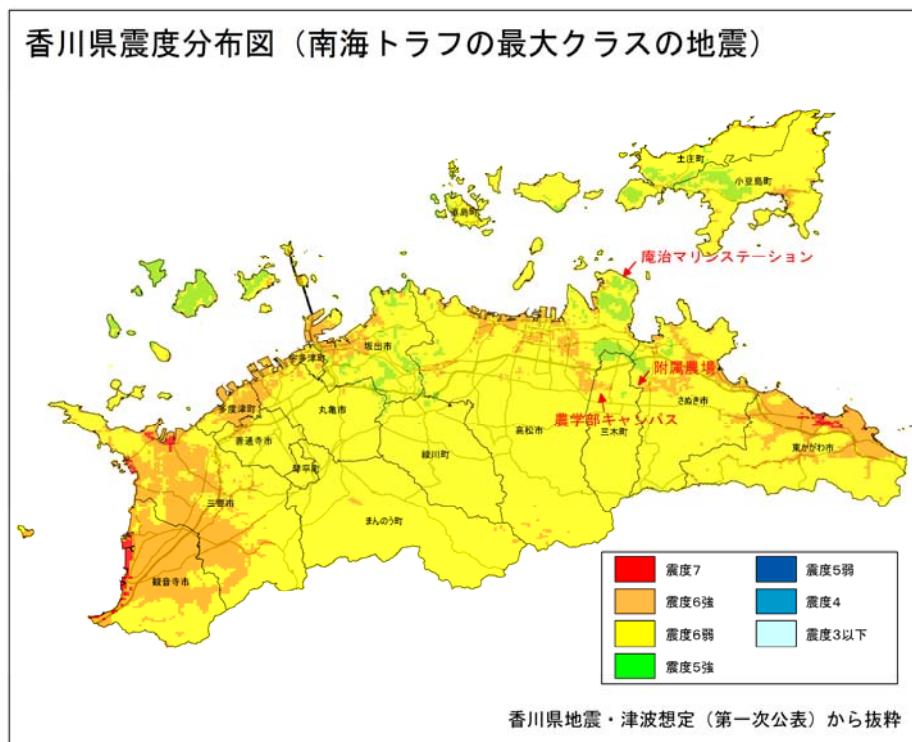
建物：倒壊しないが、天井などの落下物被害

設備：重要機器、実験機器、PCなどが被害

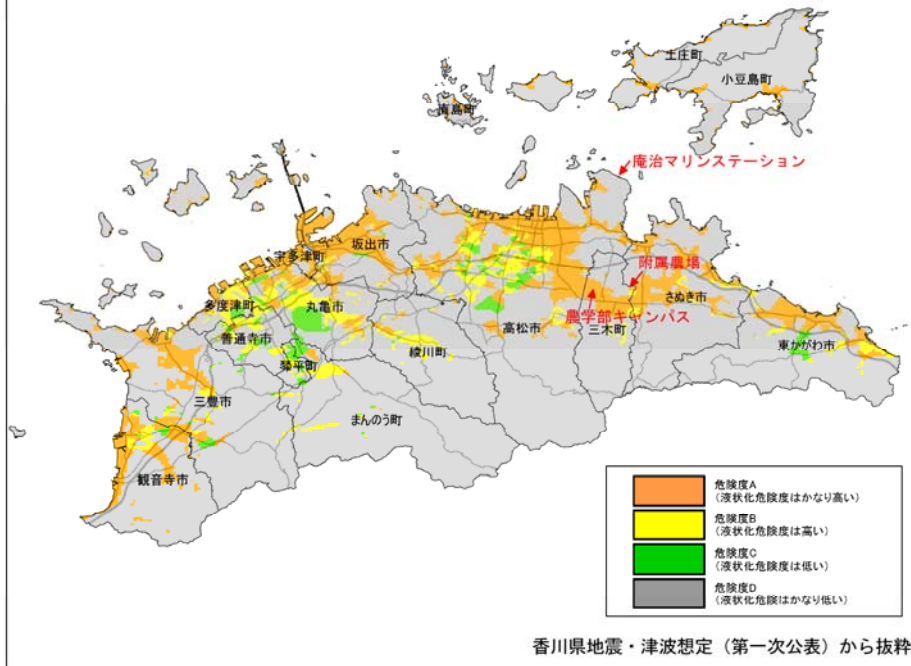
液状化：建物と地盤や駐車場で境界数cmの段差⇒埋設管に被害

津波：瀬戸内圏研究センターは浸水

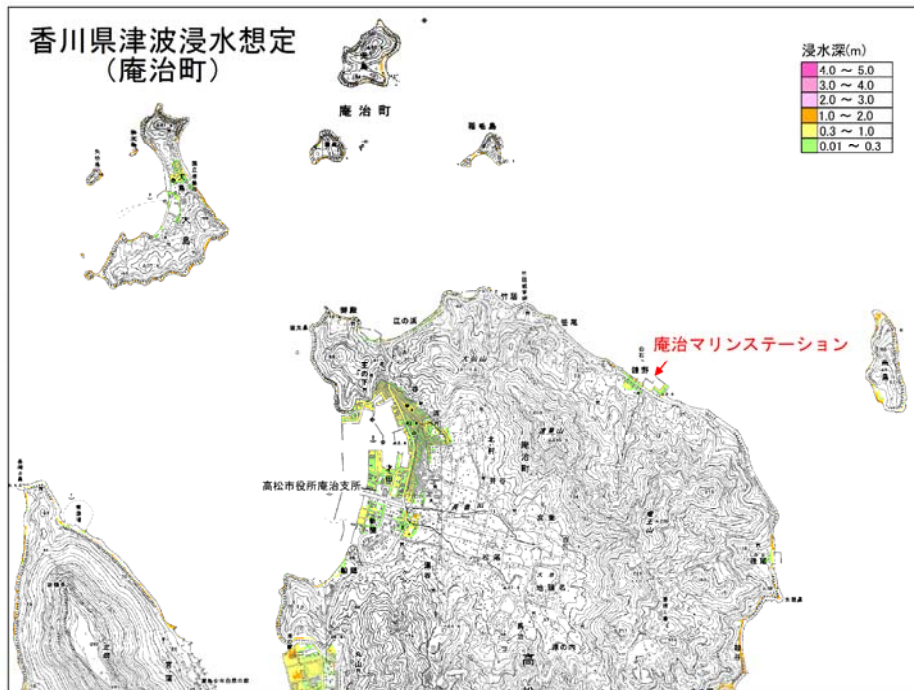
ため池決壊：道路封鎖



香川県液状化危険度予測図（南海トラフの最大クラスの地震）



香川県津波浸水想定（庵治町）



## (2) 被害想定と対応業務の洗い出しワーキング

地震発生後の被害状況、対応すべき事項をワークショップ形式で時系列シナリオを抽出する。

### 【ポイント】

まずは、平日昼間の学生が一番多い時間を想定する。次の段階として夜間（休日）発生を想定する。

### 【ワーキング結果（対応業務は重要業務の項に掲載）】

#### ■ 地震発生直後、自分は？建物や施設等は？家族は？地域は？

##### （自分及び自分の周り）

- 大きな揺れに動揺する。
- 机の下に隠れる。
- 天井や壁が崩れ、窓ガラスが壊れる。
- 落下物などで怪我をする。
- 机の上、床に書類や本が散乱する。
- 棚、ロッカー、機器類、その他物品が転倒・落下し、ケガをする。
- 実験、実習中の場合は、多数のケガ人が出る。
- 火災が発生し、多数のケガ人が出る。
- 部屋やエレベーター等に関じ込められている人がいる。

##### （設備や建物等の被害）

- 建物が大きく揺れ、音を立てている。
- 停電で照明が消える。
- 水道が断水になる。
- ガスが止まる。
- 電話が不通になる。
- メールやインターネットが不通になる。
- エレベーターが止まる。
- トイレが使用できなくなる。
- 天井や壁が崩れ、建物に被害が出ている。
- ライフラインの停止。
- 機器類や物品が転倒・落下し、破損する。
- 工事用重機・資材等が散らばっている。
- 火災報知器や防災扉の非常音が鳴り響く。
- 廊下などの通路に亀裂。

(家族やその周囲の様子)

- 電話などで連絡が取れず家族の状況が不明である。
- 子供は学校などの指示により避難している。
- 職場で拘束されている。
- 室内の物が倒れ、怪我をしている。
- 食糧・水・ガソリンなど物の買い占めでスーパー・コンビニは人だかりになる。
- 事故や信号機の不通などで交通渋滞している。
- 道の亀裂・水道管の破裂。
- 消防車・救急車が出動している。
- 怪我人が多数いる。
- 津波による浸水が起こる。
- 液状化による浸水やため池の崩壊などによる道路封鎖。
- 地域の人が学内に避難してくる。

■ 最初に行うこと・行わなければならないこと

- 災害対策本部の立ち上げ。
- 周囲の安全、被害の確認、避難経路確認。
- 学生の避難誘導。
- 怪我人の救助、応急手当。(医薬品を探す)
- 情報の収集。(ラジオ)
- 警察、消防署の機能の確認。
- 津波の危険があれば建物の2階以上に避難。
- 学生・教職員の安否確認。(授業中・サークル中・自習中など、来学者は?)
- 被害状況を調べる。(人的被害、物的被害)
- 火災は発生していないか。(初期消火)
- 危険物(薬物、毒劇物、放射性物質、ガス等)の流出はないか。
- 電源、ガス、水道を止める。
- 生活必需品の確保。(非常食や毛布など)
- AEDや消火器、拡声器などはあるか。
- 緊急連絡先の準備や危機管理基本マニュアルに基づき行動する。
- HP等への情報発信
- ライフラインの確保

等

### 3. 重要業務の選定・非常時優先業務の選定

- (1) 重要業務の選定
- (2) 非常時優先業務の選定

#### (1) 重要業務の選定

##### ●各大学で共通の重要業務

- ① ケガ人、閉じこめられた人の救出活動
- ② 学生、教職員、来客者の安否確認、不明者の把握
- ③ 火災の発生や危険物の漏洩等の二次災害の防止
- ④ 大学執行部の中枢機能の確保
- ⑤ 研究資産のデータ喪失防止及び復旧
- ⑥ 学内の情報システムの維持又は早期復旧
- ⑦ 特定施設の優先復旧
- ⑧ 自宅に住めなくなった学生等への支援
- ⑨ 教育・研究環境の早期復旧
- ⑩ 教職員の雇用の確保

##### ●季節性のある重要業務

- ① 入学試験の実施
- ② 卒業試験・定期試験・単位認定
- ③ その他の主催イベント

##### ●立地により差が出る重要業務

- ① 学生、教職員のうち、帰宅困難者への支援
- ② 地域の避難所等としてのスペースの一時提供

##### ●大学の方針に依存する重要業務

- ① 敷地・建物の応急・復旧活動への積極的提供
- ② 学生によるボランティア活動
- ③ 被害判定その他の技術的な復旧支援



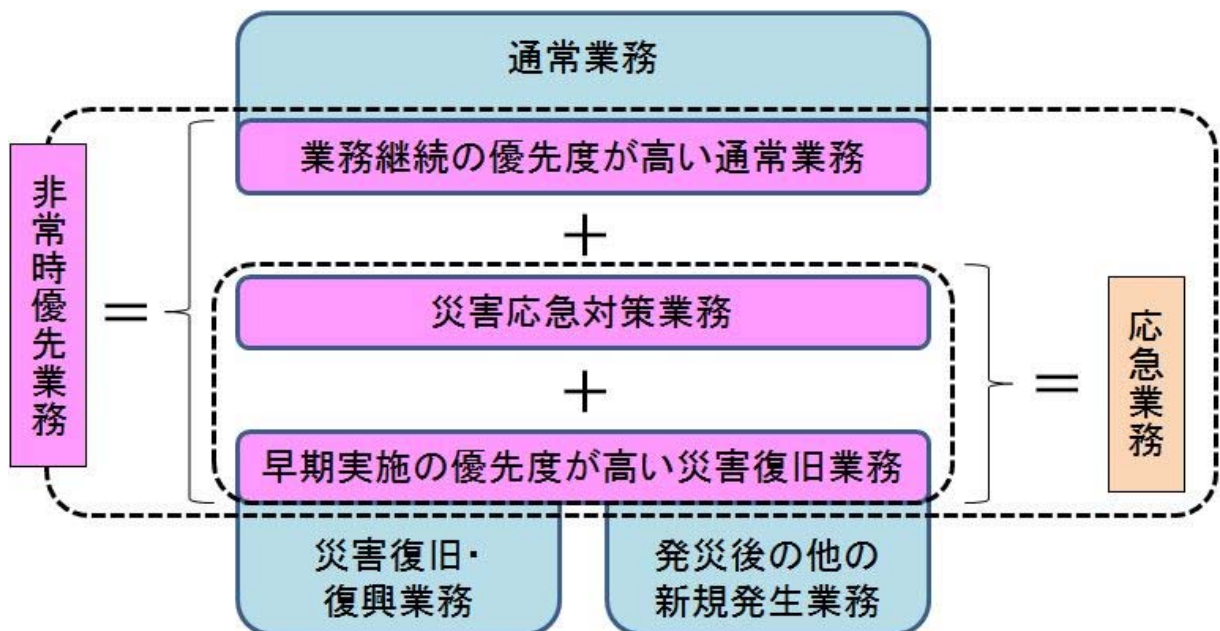
## (2) 非常時優先業務の選定

大規模災害発生直後にケガ人の救出や火災の消火などの優先先で行うべき災害応急対策業務や早期実施の優先度が高い災害復旧災害復旧業務、また、通常業務のうち業務継続の優先度が高い業務を「非常時優先業務」と作成して位置づけ（図1）、農学部における通常業務の中から当該業務を抽出する。

農学部事業継続計画では、非常時優先業務を確実に優先的に実施することとし、非常時優先業務以外の通常業務については、可能な限り休止・縮小し、その後、非常時優先業務に影響を与えない範囲で順次再開を目指す。

※図1

<非常時優先業務等の範囲>



<農学部の優先業務>

業 務	目標対応・復旧時間							優先度
	1h 以内	3h 以内	24h 以内	72h 以内	1週間 以内	2週間 以内	1か月 以内	
儀式その他諸行事に関する事。		⇒	⇒					◎
教授会その他の会議に関する事。				⇒	⇒			○
諸規程等の制定及び改廃に関する事。							⇒	
公印の管守及び文書類に関する事。				⇒	⇒	⇒		
庶務及び人事に関する事。			⇒	⇒	⇒			
予算要求資料の作成及び予算の使用計画に関する事。				⇒	⇒	⇒	⇒	
資産の管理に関する事。				⇒	⇒	⇒	⇒	
国際交流に関する事。					⇒	⇒	⇒	
入学者の選抜に関する事。		⇒	⇒	⇒				◎
教育課程の編成及び授業に関する事。				⇒	⇒			○
試験、成績その他学科目の履修に関する事。		⇒	⇒	⇒				◎
学生の入学、退学、転学、休学、留学、復学、懲戒、除籍、卒業及び修了に関する事。				⇒	⇒			○
学生の学籍その他の記録に関する事。					⇒	⇒	⇒	
学生の修学指導に関する事。				⇒	⇒	⇒	⇒	○
学位の審査に関する事。				⇒	⇒			
学生のインターンシップに関する事。				⇒	⇒			
学生の課外教育及び課外活動施設の管理に関する事。					⇒	⇒	⇒	
学生及び学生団体の指導監督に関する事。				⇒	⇒	⇒	⇒	
学生の助言相談及び厚生に関する事。				⇒	⇒	⇒	⇒	
学生の職業指導及び就職等あっせんに関する事。			⇒	⇒	⇒			◎
物品及び役務関係の調達及び管理に関する事。		⇒	⇒	⇒				◎
安全衛生管理に関する事。			⇒	⇒				
施設の維持・管理に関する事。	⇒	⇒	⇒	⇒				◎
附属農場に関する事。						⇒	⇒	
愛媛大学大学院連合農学研究科に関する事。						⇒	⇒	

## 4. 災害時の対応体制

- (1) 学生、教職員及び家族の安否確認方法  
 (2) 災害時の対応体制  
 (3) 災害対策本部長の代理者及び代理順位

### (1) 学生、教職員及び家族の安否確認方法

実施者	担当者 学務係（学生の安否確認）、庶務係（教職員の安否確認）
対象者	学生、教職員及びその家族
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話連絡、メール、SNS 等の活用</li> <li>・安否確認(氏名・避難している住所)、リスト作成</li> <li>・安否不明の人への対応(継続的に連絡、応援を呼ぶ、警察、消防への連絡等)</li> <li>・留学生への対応(外務省へ確認、報告)</li> </ul>

### (2) 災害時の対応体制

災害時の役割	学部長、副学部長が招集 → 農学部災害対策本部を設置
災害時の対応体制	香川大学危機管理基本マニュアル及び地震、風水害(台風)、不審者、火災の対応マニュアルに順じて対応
災害時のリーダー	学部長が本部長
発災直後の対応体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機対策本部メンバー確認。副本部長の指名、本部員の追加、危機対策本部の設置(場所の検討)</li> <li>・役割分担。(情報収集、救護、連絡、キャンパス内被害確認等)</li> <li>・本部、他機関、マスコミへ農学部としての対応窓口を公表</li> <li>・被害情報から帰宅や出勤を判断</li> <li>・勝手に行動せず集団で行動し、情報を把握</li> </ul>

### (3) 災害対策本部長の代理者及び代理順位

代理者及び代理順位	<ul style="list-style-type: none"> <li>1位 学部長</li> <li>2位 副学部長（教育研究評議員）</li> <li>3位 副学部長（教育担当）</li> <li>4位 副学部長（研究担当）</li> </ul>
-----------	--

## 5. 対応拠点・代替連絡拠点の確保

- (1) 対応拠点の確保  
 (2) 代替連絡拠点の確保  
 (3) 対応の発動基準

### (1) 対応拠点の確保

対策本部の設置場所	農学部長室（A棟2階） （附属農場、瀬戸内圏研究センターを含む）
連絡先	住所：〒761-0795 木田郡三木町池戸2393 電話：内線 3008 庶務係 087-891-3008 学部長室（災害時優先電話）087-891-1411 守衛室（災害時優先電話）087-898-1412 メール：shomu-a@kagawa-u.ac.jp（庶務係長） ihara.koji@kagawa-u.ac.jp（事務課長） jimth-a@kagawa-u.ac.jp（事務課長補佐(庶務・学務)） kaikei-a@kagawa-u.ac.jp（事務課長補佐(会計)）
揃える設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PC、プリンター、備蓄材、救命器具、非常用電源等、ホワイトボード、MCA無線</li> <li>・学部長室に災害時優先電話を設置</li> <li>・ライト・懐中電灯、乾電池等の確認、照明の確保</li> <li>・ラジオ、携帯コンロ、燃料、非常食、飲料、毛布、寝袋、銀色マット、浄水装置、カイロ、暖房具等の防災グッズの準備</li> <li>・農学部キャンパス等の図面</li> </ul>
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を収集・整理し、共有化、対策のフローチャート化（確認）</li> <li>・災害復旧への体制計画立案、短期、中期的な対応についての戦略</li> <li>・農学部等の被害状況、安否情報を収集し、本部へ報告後、マスコミ等へ発信</li> <li>・被災者の受入れアナウンス、行政側との情報連携(情報発信の一元化)行政機関への支援</li> <li>・帰宅者と宿泊者の確認(宿泊者、一時帰宅者のリストアップ、大学に残る人数を把握)</li> <li>・宿泊者(学生、教職員、避難の地域住民)の宿泊場所の確保、受入れ、対応内容検討</li> <li>・避難者(帰宅不能者)の受入れ、宿泊所の設置(市・生協との連携)</li> <li>・対応期間を推測し食料、水、燃料等、必需物資確保、不足機材手配</li> </ul>

(2) 代替連絡拠点の確保

代替連絡拠点の場所	①バイオインフォマティクス研究施設
連絡先	内線3404
業務内容	安否確認、情報収集拠点

(3) 対応の発動基準

発動基準の目安	木田郡三木町、さぬき市昭和、高松市庵治町地域のいずれかにおいて震度 5 弱以上の地震発生で、危機対策本部を設置（それ以下であっても、被害の状況により、学部長が判断し設置）
---------	---

## 6. 災害情報の発信・情報共有

- (1) 学生（保護者）関係
- (2) 教職員（家族）関係
- (3) 連携大学関係
- (4) 報道関係
- (5) その他

### (1) 学生（保護者）関係

安否確認	安否確認システムの利用、固定電話、携帯電話、携帯メール、衛星携帯電話、伝言ダイヤル、SNS等により実施
安否情報の確認・発信・共有	本人、保護者、友人、指導教員、家族、マスコミ、留学生については大使館、学内掲示、照会専用電話の公表等
講義再開に向けた説明	連絡が取れない場合は、マスコミを通して説明会の開催を広報

### (2) 教職員（家族）関係

安否確認	安否確認システムの利用、固定電話、携帯電話、携帯メール、行政電話、衛星携帯電話、伝言ダイヤル、SNS等により実施
情報の確認・発信・共有	本人、家族、実家、同僚、学内掲示、外国人教職員については大使館、照会専用電話の公表等

### (3) 連携大学関係

応援依頼事項	学生、教職員、施設・設備、実験機器、図書、経理関係、危険物、その他重要な財産等
--------	---

### (4) 報道関係

取材協力	学生・教職員の被災状況、大学の被災状況、大学の教育・研究・社会貢献活動、入試関係事項、学生の課外活動状況、避難住民への対応状況、教員の専門的立場からのコメント等
情報発信・収集協力	学生の安否確認、安否情報提供、受験生への入試情報提供等

### (5) その他

県・市・警察・消防署との連絡	避難住民の情報収集及び報告・連絡、広報活動等
----------------	------------------------

## 7. 人員、資機材、サービスの確保

- (1) 学部で保有している資源「人員、資機材、サービス」の認識  
 (2) 連携大学、関係機関との緊急時の連絡先、連絡手段の相互認識

### (1) 学部で保有している資源「人員、資機材、サービス」の認識

確認年月日	令和4年11月
人員	看護師・保健師、防災士、各種危険物取扱資格取得者 等
資機材	保健管理センター農学部分室に薬品、その他医療品等を備蓄 物品庫、体育館倉庫等に、発電機、ライト・懐中電灯、乾電池、ラジオ、毛布、マット等を備蓄
サービス	地域住民に対して <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育館を避難所として提供            (二次避難所として提供。H23年12月に三木町と協定締結済)</li> <li>・ グラウンドや広いスペースを一時的な避難所として提供</li> </ul>

### (2) 連携大学、関係機関との緊急時の連絡先、連絡手段の相互認識

- 発災直後に連絡をとる重要な関係先
  - ・ 組織名称：愛媛大学大学院連合農学研究科
  - ・ 担当者所属 連合農学研究科チーム
  - ・ 連絡手段 固定電話
  - ・ 連絡先 089-946-9910
  - ・ 連絡する趣旨 大学に関する人的・物的被害状況の報告
  
- その他の重要な連絡先
  - ・ 巻末資料参照

## 8. 情報・通信システムの確保

- (1) 学内の情報・通信システムの現状
- (2) 災害時にも有効な情報通信システム

### (1) 学内の情報・通信システムの現状

- ・ 情報サーバー・ネットワークスイッチが幸町キャンパスに集中配置されている。
- ・ 幸町キャンパスとネットワークで直接接続できなくなった場合は、医学部経由でネットワーク通信ができる。
- ・ 各学部間のキャンパス間ネットワークが失われた場合には、各学部単位で OCN にてネットワークに接続できる。

#### 【今後の課題】

- ・ 学生・教職員の安否確認システムについて検討が必要である。

### (2) 災害時にも有効な情報通信システム

- ・ 幸町キャンパスとネットワークで直接接続できなくなった場合は、医学部経由でネットワーク通信ができる。
- ・ 各学部間のキャンパス間ネットワークが失われた場合には、各学部単位で OCN にてネットワークに接続できる。

#### 【今後の課題】

- ・ 農学部独自のネットワーク機能はない。情報発信手段がないと周辺機関との連携が難しい。大学の通常的手段が使用できない場合の代替手段の検討が必要である。
- ・ 個人所有の無線 LAN を把握すると有効か。
- ・ MCA 無線（デジタル業務用移動通信）導入の検討



## 9. 重要情報の管理

(1) 重要情報の種類

(2) 平常時の情報管理と災害時の情報の活用をどう位置づけるか？

(1) 重要情報の種類

- ・ 法人、大学に関する情報
- ・ 学生、教職員に関する情報（個人情報も含む）
- ・ 教育に関する情報（教育内容、入試に関する情報等も含む）
- ・ 研究に関する情報（研究内容、成果、知的財産に関する情報等も含む）
- ・ 事務情報
- ・ その他重要な情報
- ・ 平成 23 年 4 月から公文書管理法が施行され、国立大学法人の管理運営方法の再整理が進められている（情報の管理方法、期限の設定など）。

(2) 平常時の情報管理と災害時の情報の活用をどう位置づけるか？

- ・ 災害時の安否確認に必要な個人情報の取扱い
- ・ 有事の際に特に保護・管理すべき情報（電子データ、紙媒体）
- ・ 重要情報のバックアップ方法（例えば、中四国大学間連携でお互いのデータサーバーへデータバックアップをとれば費用が膨大とならない。）

## 10. 地域との協調・地域貢献

- (1) 学生、教職員の帰宅困難者への支援
- (2) 避難所機能の確保
- (3) 応急・復旧活動への応急・復旧活動への敷地・建物等の積極的提供
- (4) 学生による地域ボランティア活動の斡旋
- (5) 被害判定その他の技術的な復旧支援

地域における重要な防災拠点機能を発揮するために、平常時から地域との交流をもつことが必要である。

- (1) 学生、教職員の帰宅困難者への支援  
不要不急の移動を回避し、地域の緊急業務を妨げない
- (2) 避難所機能の確保  
学生・教職員・来訪者及び周辺地域住民  
※農学部体育館等は、三木町の指定する避難所に不足が生じた場合に予備的避難所として開設することがあります(平成 23 年 12 月 1 日／協定(三木町長・農学部長))
- (3) 応急・復旧活動への敷地・建物等の積極的提供  
物資・資機材の一時仮置き場、災害復旧従事者の集合拠点
- (4) 学生による地域ボランティア活動の斡旋  
二次災害の心配が回避されてから実施
- (5) 被害判定その他の技術的な復旧支援  
教職員・学生の取得免許・資格や専門分野を活かした技術支援

## 11. 訓練の実施

- (1) 訓練の実施
- (2) 課題の抽出と改善

### (1) 訓練の実施

#### ■ 実施時期

年1回、11月～12月頃に実施

#### ■ 訓練内容

大規模地震が発生し、それに伴う火災が発生したとの想定により、以下の訓練を実施

- ・避難訓練
- ・安否確認訓練
- ・救護訓練
- ・情報収集・伝達訓練
- ・放水訓練
- ・初期消火訓練
- ・AEDを用いた応急救護訓練

#### ■ 参加予定者

可能な限り、大学業務に係わる者全てを対象とする。

### (2) 課題の抽出と改善

訓練後にアンケートを実施し、その結果から反省点、課題等を抽出し、改善につなげている。

## 12. 今後の対応

- 防災訓練の定期的な実施
- 危機管理基本マニュアルや事業継続計画等の周知徹底
- 災害時用情報通信システムの検討
- 学生、教職員の安否確認システムの検討
- 重要情報の非常時の管理方法の検討
- 地域との連携・協力方法の確認
- 非常用物品の備蓄量の拡大
- 学生、教職員向けの防災カードの作成
- 機能別消防団（H26.7 結成済）の訓練の実施
- 学生全体を対象とした防災授業（共通教育1年次後期に実施）
- 教職員全員を対象としたSD講習会の実施 1時間以内

# 資料集

- (1) 農学部で保有している備蓄品及び備蓄食糧品の整備状況一覧
- (2) 重要な連絡先一覧
- (3) 農学部キャンパス等における耐震化状況
- (4) BCP に関する学生及び教職員の動態調査結果

# (1)農学部池戸キャンパスにおける備蓄品の整備状況

R4. 11月現在

品名		数量	保管場所	備考
ガソリン式発電機		1 台	用務員倉庫	差込2箇所 ガソリン20L装備
ワンタッチテント		2 張	車庫横(南)	
三方幕(ワンタッチテント用)		2 枚	車庫横(南)	
トランシーバー		5台	物品庫(3セット) 学務係(1セット)	
拡声器		2 台	A122	
ブルーシート		20 枚(約)	車庫横(南)	
バール		4 個	用務員倉庫	
両口ハンマー		3 個	用務員倉庫	
トラロープ		4 巻	車庫横(南)	
ショベル	丸形	8 本	用務員倉庫	
	角形	3 本		
バケツ	(15L)	2 個	物品庫	
	(12L)	4 個		
やかん		5 個	体育館倉庫(北)	
コードリール	防水(20 m)	2 巻	車庫横(南)	
	非防水	2 巻		
ハロゲン投光器		4 個	車庫横(南)	
ヘルメット		10 個	事務室等(各人)	
カセットコンロ		2 台	A109	
軍手		100 双(約)	物品庫	
土嚢袋		8 袋	車庫横(南)	
長靴		20 足	車庫横(南)	
コードリール		1 巻	用務員倉庫	
フラッシュ誘導灯		4 本	A122	長3本、短1本
乾電池	単1 単2 単3 単4	各1箱備蓄	検収センター	
一輪車(浅型)		2 台	用務員倉庫	
災害避難用大型テント		1 張	ストックヤード	
専用台車		1 台	ストックヤード	
折りたたみ式担架		1 台	守衛室	
ヘッドライト		1 個	ストックヤード	ハセシンHS-2
ヘッドライト		1 個	ストックヤード	ハセシンHS-3
防塵マスク		1 箱	ストックヤード	50枚入り
非常用保温アルミシート		1 枚	ストックヤード	
避難セット	手回し充電ラジオライト JYL-23	1 台	ストックヤード	
	毛布	10 枚		
	エア枕	10 個		
	軍手	10 双		
	身体ふき	1 個		
	防災用トイレ処理剤(7回分)	2 個		
	アルコールハンドジェル	1 個		
	ウォータータンク 10L	2 個		
バックルボックス	1 個			
マットレス		19 枚	体育館倉庫No. 2	

## (2) 重要な連絡先一覧

令和4年12月1日現在

	会社名	所在地	担当者	連絡先	備考
ライフライン	高松市三木消防署	木田郡三木町水上373-2		087-898-4119	農学部管轄
	大川広域消防本部	東かがわ市町田56番地1		0879-24-2119	附属農場管轄
	東消防署 牟礼分署	高松市牟礼町牟礼3720-328		087-845-1255	庵治マリンステーション管轄
	四国電力(株)高松支店	高松市亀井町7番地9		0120-410-761 087-831-0211	高松市内、三木町内管轄
	香川県広域水道企業団 高松ブロック統括センター	高松市番町一丁目8番15号 高松市防 災合同庁舎1階		087-839-2711 (お客様センター)	農学部、庵治マリ管轄
	香川県広域水道企業団 高松ブロック統括センター	さぬき市津田町津田1467-5		0879-23-7071 (お客様センター)	附属農場管轄
	四国ガス燃料(株) 高松営業所	高松市朝日町4丁目19-1	山地	087-821-2272	
	(株)藤田商店 高松支店 (ガス)	高松市鹿角町878-1		087-867-1925	光風寮のみ
	四国石油(株) 高松営業所	高松市藤塚町1丁目3番28号		087-831-7221	学生食堂のみ
	NTT電話故障			113 0120-444-113	
	ソフトバンク電話故障			0800-919-5000 0120-467-019	「おとくライン」の故障・障害に関する 問い合わせ
	蛍光灯・安定器	ソフトバンクテレコム株式会社 営業統括広域第二営業本部 中四国支社岡山営業部四国支店	高松市寿町2-2-7	竹吉	087-825-1810
岸本家電用品商会 ヒライデンキ		木田郡三木町大字井戸2579-5 高松市天神前9-21	岸本 平井	087-898-6484 087-862-5184	
エアコン	岸本家電用品商会 ヒライデンキ	木田郡三木町大字井戸2579-5 高松市天神前9-21	岸本 平井	087-898-6484 087-862-5184	
	トイレ詰まり	(有) 四国通管	高松市多肥上町1108	0120-077-588 087-889-6757	
雨漏れ	小竹興業(株)	高松市福岡町4-28-30	村上	087-851-9096	
	(株)楠本コーポレーション	三豊市詫間町松崎693	久保	0875-83-5648	G棟
	四国防水工業(株)	高松市香川町大野162-1	三好	087-888-3555	
水漏れ	岸本家電用品商会	木田郡三木町大字井戸2579-5	岸本	087-898-6484 090-4971-7798	
	(有)池戸電水 三木営業所	木田郡三木町池戸3388-1	平井	087-898-0239	水道関係
壁穴修理	(株)井坂工務店	高松市前田西町935-15	井坂	087-847-3331	
給排水設備	高尾工業(株)	高松市多賀町1丁目1-23	秋山	087-831-7655	BW棟地下ポンプ
電話	ツツキンフォテクノ西日本(株)高松支	高松市藤塚町1丁目10番30号	中山	087-812-6611	電話の増設・休止
LAN	ネットワンシステムズ(株)高松支店	高松市磨屋町3-1		087-811-7933 0120-888-916	学部内LAN
	(株)STNet 香川支店	高松市東ハゼ町9-3		087-887-2400 0120-410-612	キャンパス間LAN
電気	四国電気保安協会	さぬき市津田町鶴羽1267-1	田中	0879-42-0050	香川支部さぬき事業所 保守点検・漏電
	岸本家電用品商会	木田郡三木町大字井戸2579-5	岸本	087-898-6484	
	三信電気水道(株)	高松市中央町15番20-21号	松本	087-831-1751	
エレベーター	日進機械	高松市一宮町 744番地1	磯田	087-864-7423	ドラフト
	(有)カガワキサービス	高松市多肥下町1585-16	西岡	087-814-8169	ドア鍵、歪み補修
	新名ガラス店	高松市城東町2丁目13-4		087-851-2132	ガラス交換
	ミヤオ産業(有)	広島市中区小町2番29号		082-247-9026	清掃全般
	富士フイルムビジネスソリューションズ 共進コミュニケーションズ四国	高松市磨屋町8-1 あなぶき磨屋町ビル6F 高松市太田下町3013-17	佐藤 相良	087-811-8686 087-865-1842	複写機 講義室AV関係
エレベーター	三菱電機ビルテクノサービス(株)	高松市番町1丁目6-6-7F		087-822-6061	A・B・C・遺伝子
防災設備関係	ツゲ炭酸工業				
	四国防災設備	木田郡三木町大字水上1833-6	矢野	087-898-3913	消火器・救助袋
カーゲート	日進機械	高松市一宮町744番地1		087-864-7423	
	アマノ(株)	高松市伏石町2074番1		087-866-844	
セキュリティ	(株)クマヒラ 高松営業所	高松市塩屋町8-1	寺中	087-821-2636	
	セコム(株)高松南営業所	高松市寺井町123-6		087-805-0322	
警備会社	パナユーズ(株)	高松市多肥下町1556-13	神田	087-815-0087	
ATM	百十四銀行 三木支店	木田郡三木町大字池戸2786番地12		087-898-1141	(来年度以降削除)
共用車	(株)テクニカルオート	高松市前田西町6-3	小川	087-847-2051	共用車関係
	香川日野自動車(株)	高松市春日町1481番地		087-841-2124	バス
農機具	ヤンマーアグリジャパン三木妹尾支店	木田郡三木町池戸2843-8		087-898-1525	
圃場関係	(株)大仙四国営業所	高松市田村町892	堀田	087-865-8311	ガラス温室
	(株)サンティック	高松市国分寺町新名731-1	見市	087-874-3903 080-1993-9525	ビニールハウス、ボイラー
	丸文ウエスト(株)	高松市古新町3-1	斉藤	087-813-0100 090-2892-1674	形質転換、特定網室
試薬廃棄	アサヒプリテック(株)四国営業所	愛媛県西条市今在家1073		0898-64-0148	
	日本産業廃棄物処理(株)	岡山県岡山市南区浦安南町159-1		086-261-885	
	(株)イージーエス	愛媛県新居浜市新田町3丁目1番39号		0897-37-1098	
AED	総合警備保障株式会社 香川支社	高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー	加藤	087-825-5666	
高圧ガスボンベ	高松帝酸(株)	高松市朝日町5丁目14番1号	三木	087-822-5222	ボンベ破損等
	四国太陽日酸(株)香川営業所	高松市鹿角町字城ノ内301		087-886-1181	ボンベ破損等

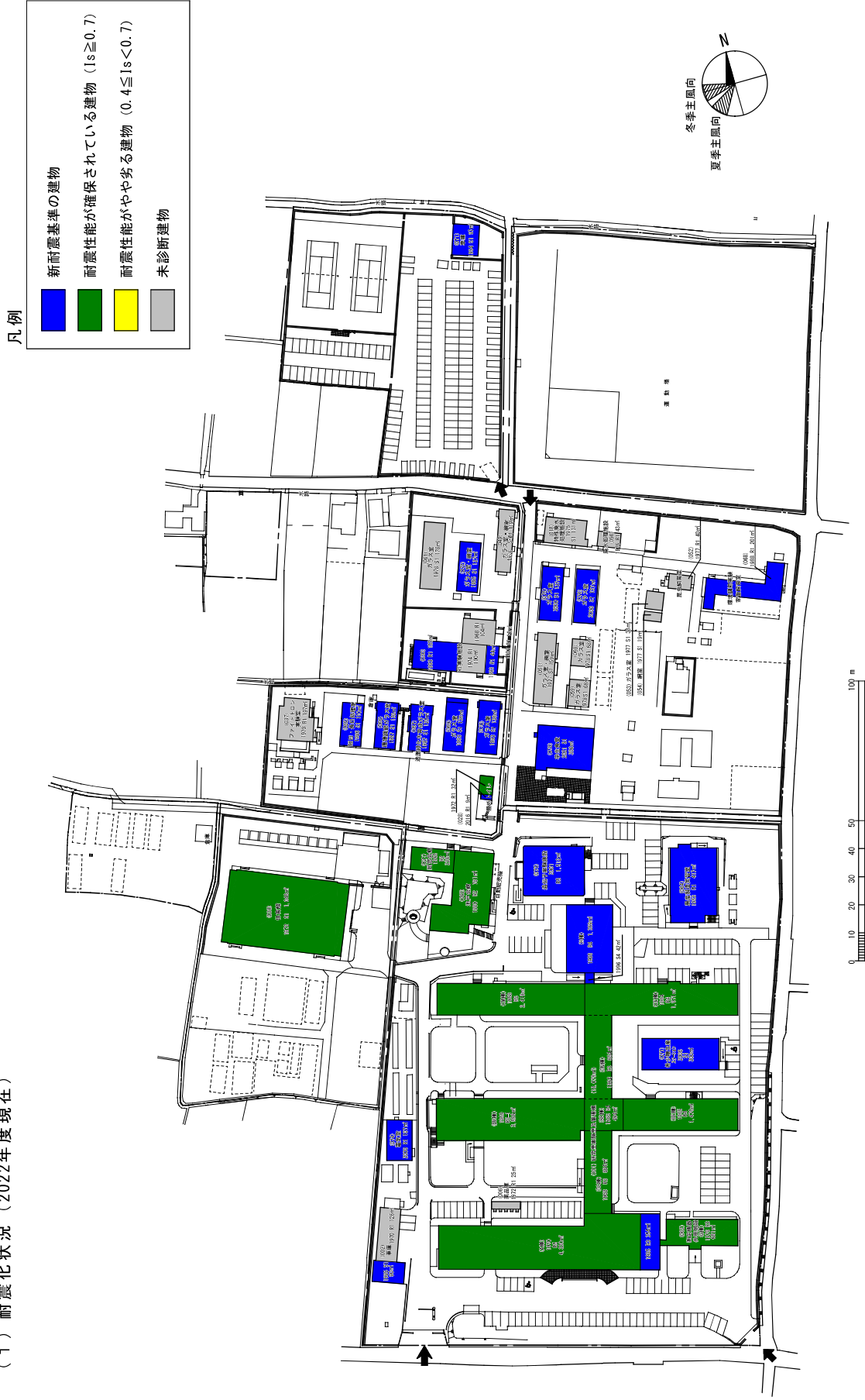
	会社名	所在地	担当者	連絡先	備考
<b>附属農場関係</b>					
アクリル温室	(有)和泉工務店	高松市林町2563-14	和泉	087-866-9698 090-9458-1895	
警備	セコム(株)高松南営業所	高松市寺井町123-6		087-805-0322	自動火災警報等
<b>庵治マリンステーション関係</b>					
船舶	(株)藤本造船鉄工所	高松市庵治町6393-1		087-871-2272	カラヌドック
	竹本造船所	高松市庵治町5413-14		087-871-2393	ノープリウスドック
	(株)大東工作所	神戸市兵庫区出在家町2丁目6番2号		078-652-0128	
	庵治漁業協同組合	高松市庵治町6377番地		087-871-4131	



### (3) 農学部キャンパス等における耐震化状況

三木町農学部キャンパス





(1) 耐震化状況 (2022年度現在)



長尾町団地

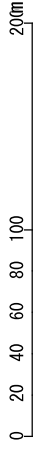
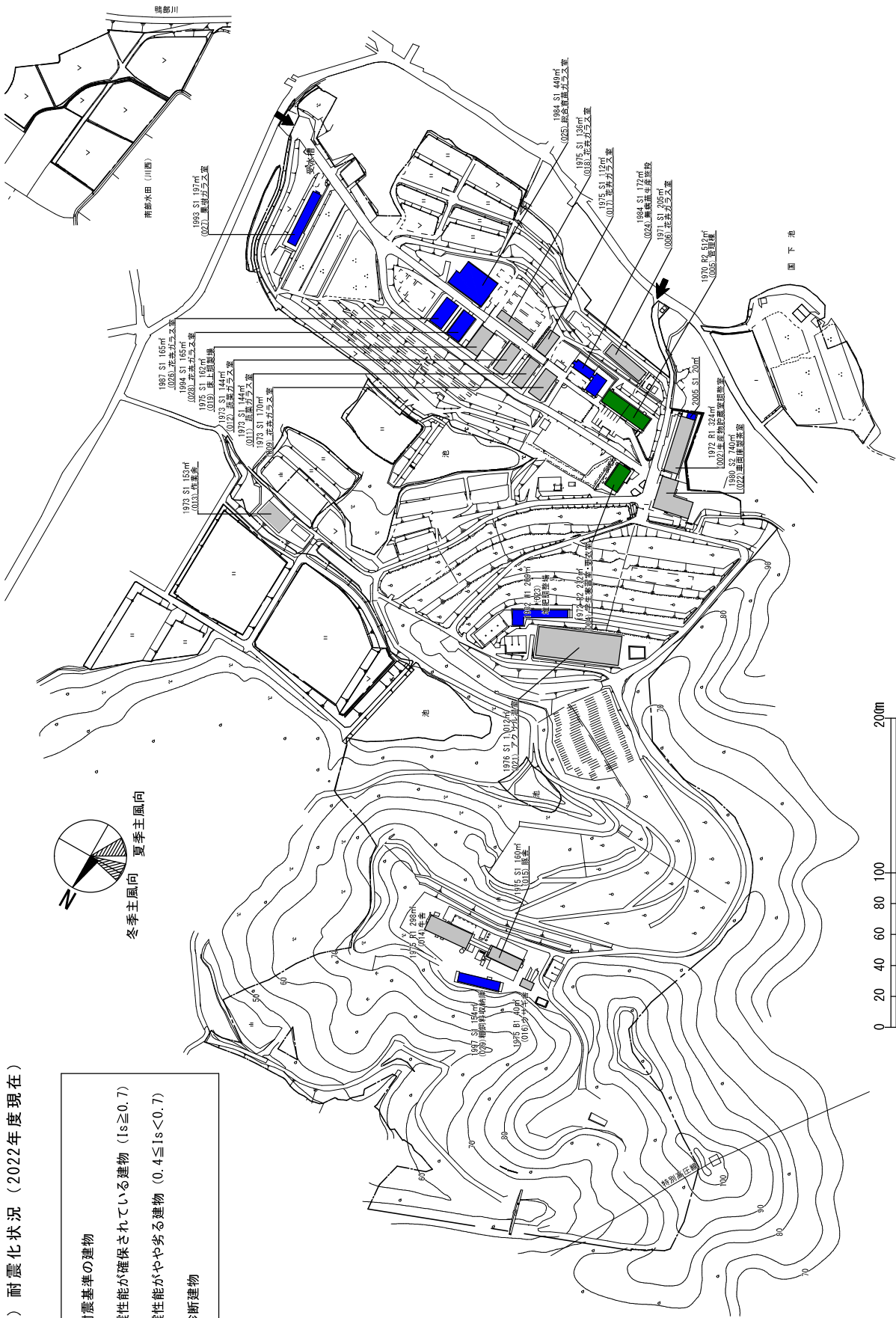
(1) 耐震化状況 (2022年度現在)

凡例

	新耐震基準の建物
	耐震性能が確保されている建物 ( $I_s \geq 0.7$ )
	耐震性能がやや劣る建物 ( $0.4 \leq I_s < 0.7$ )
	未診断建物

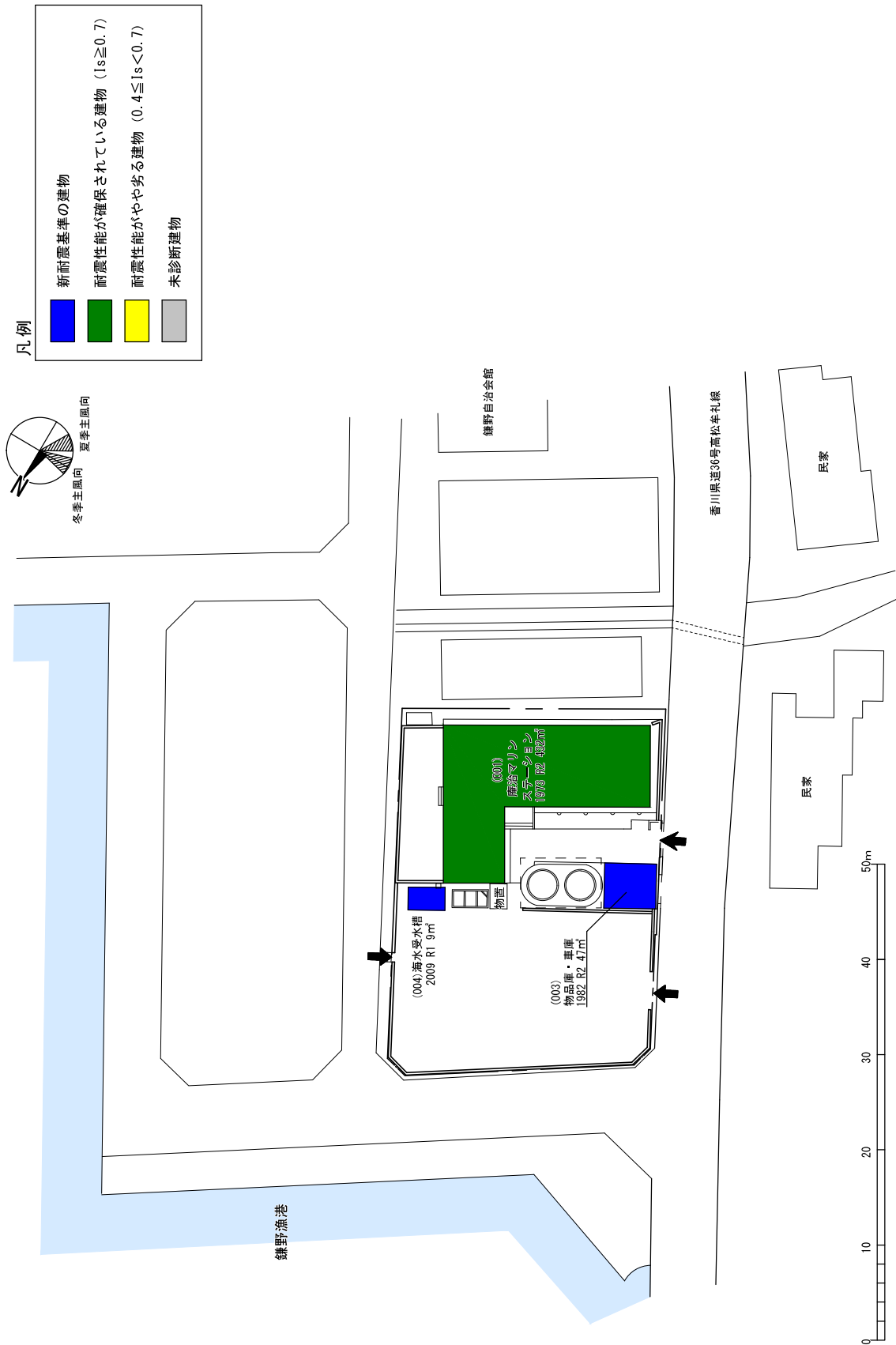


冬季主風向 夏季主風向



庵治町高砂団地

(1) 耐震化状況 (2022年度現在)

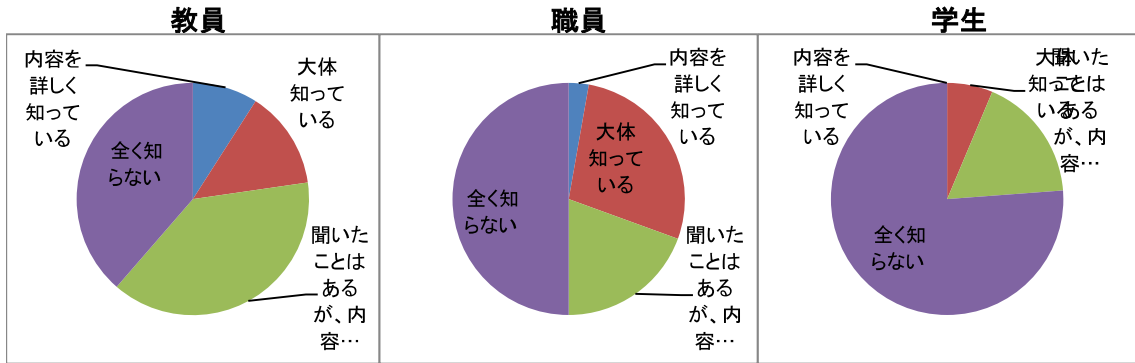


#### (4)BCPに関する教職員・学生の動態調査結果

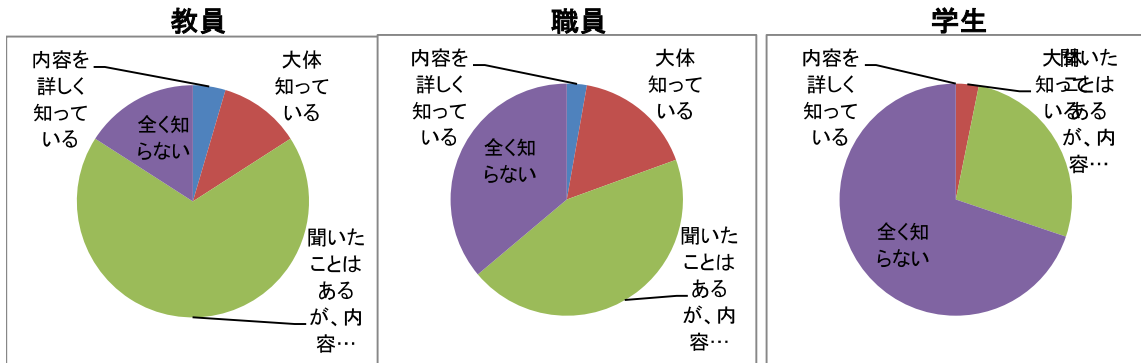
##### アンケート調査の方法

1. 実施期間	
2. 回答者数	143名(教員 44名、職員 36名 学生 63名)
3. アンケート方法	メール返信または紙媒体による配布及び回収

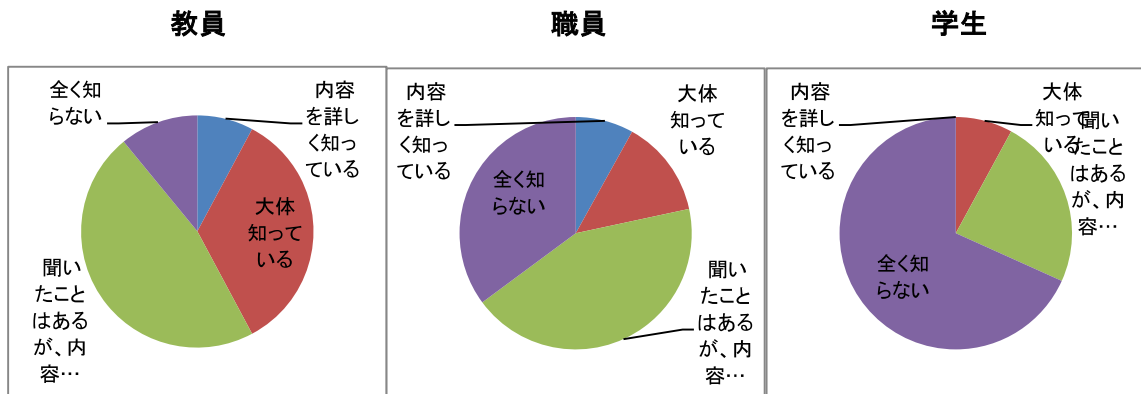
#### BCP(事業継続計画)という言葉を知っていますか？



#### 香川大学危機管理基本マニュアルを知っていますか？

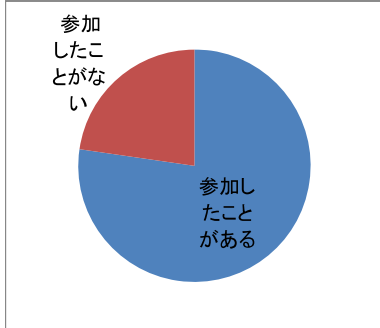


#### 香川大学農学部安全マニュアルを知っていますか？

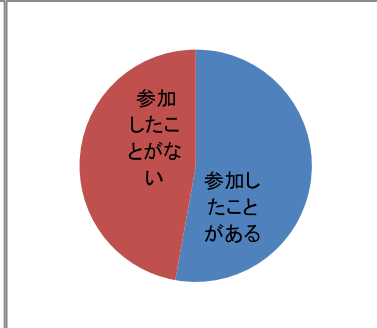


香川大学農学部が実施している防災訓練に参加したことがありますか？

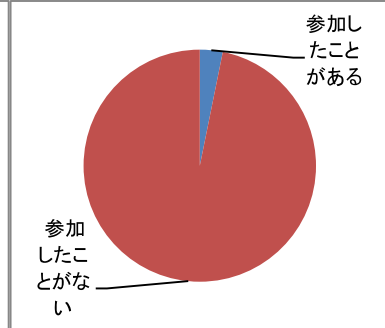
教員



職員

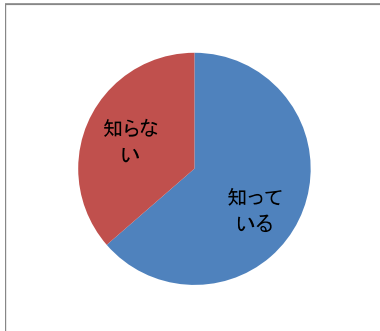


学生

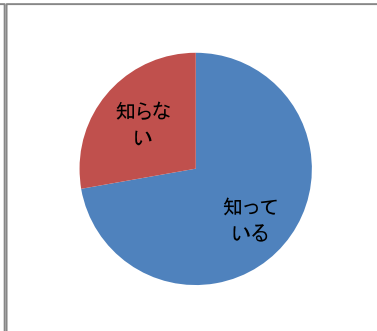


自動体外式除細動器(AED)の使い方を知っていますか？

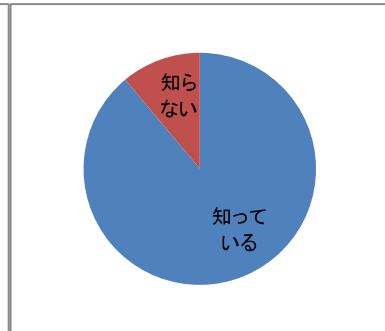
教員



職員

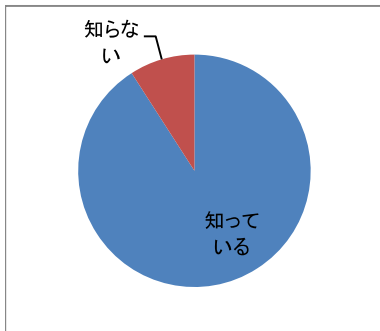


学生

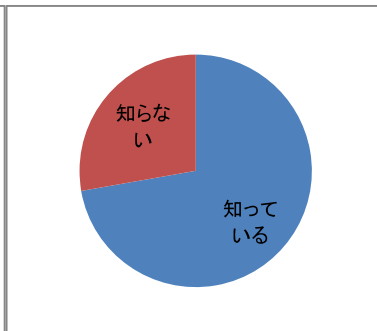


消火器の使い方を知っていますか？

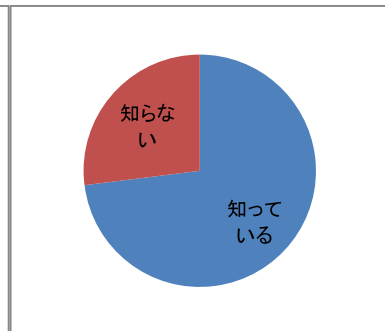
教員



職員



学生

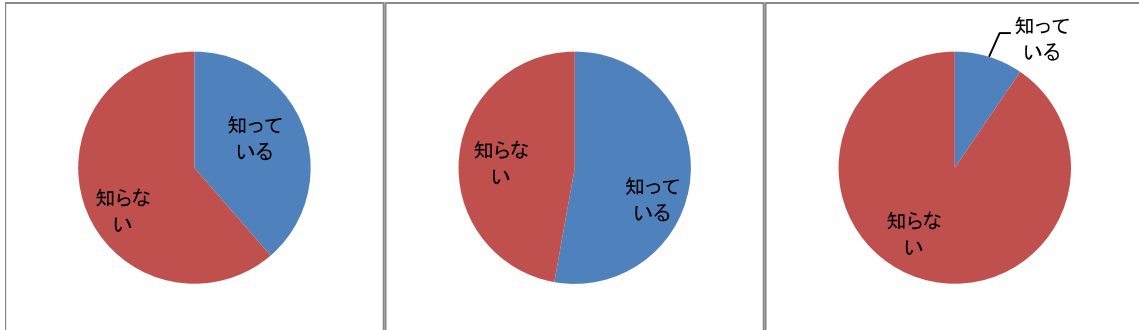


災害時における大学との連絡方法・連絡先を知っていますか？

教員

職員

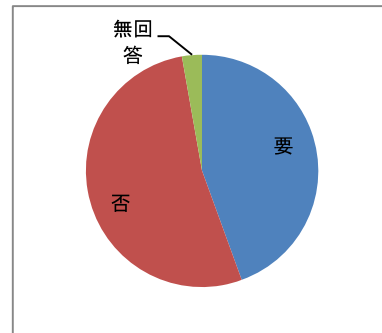
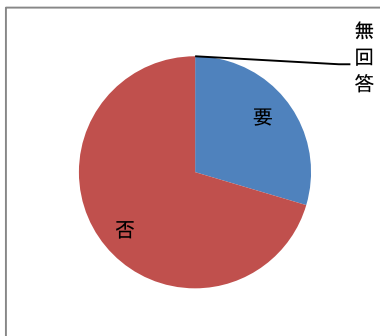
学生



災害時の優先帰宅(教職員のみ)

教員

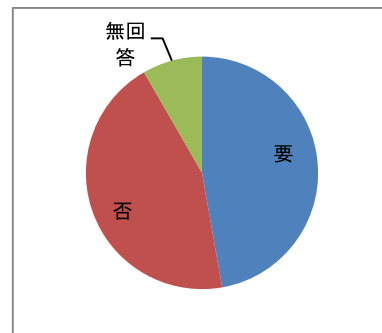
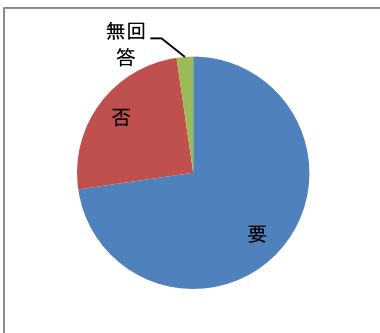
職員



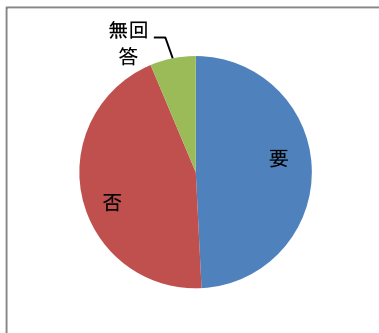
災害時出勤の可否(教職員のみ)

教員

職員

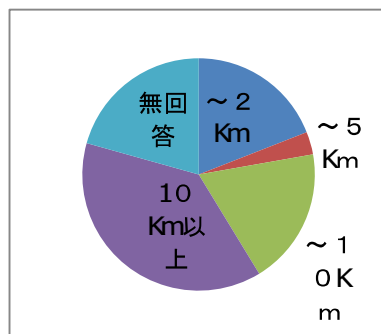


ボランティア活動への参加(学生のみ)

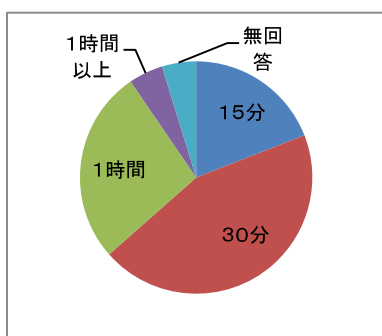


自宅から農学部までの距離及び通学時間(学生のみ)

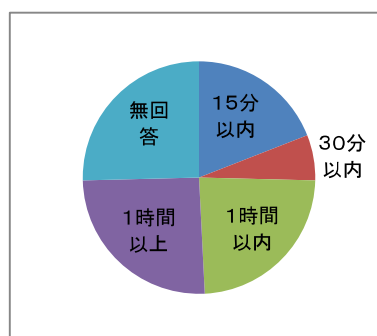
距離



通学時間(平時)



通学時間(非常時)



取得資格(学生のみ)

・防災士 3名